

萩市文化財施設のご案内



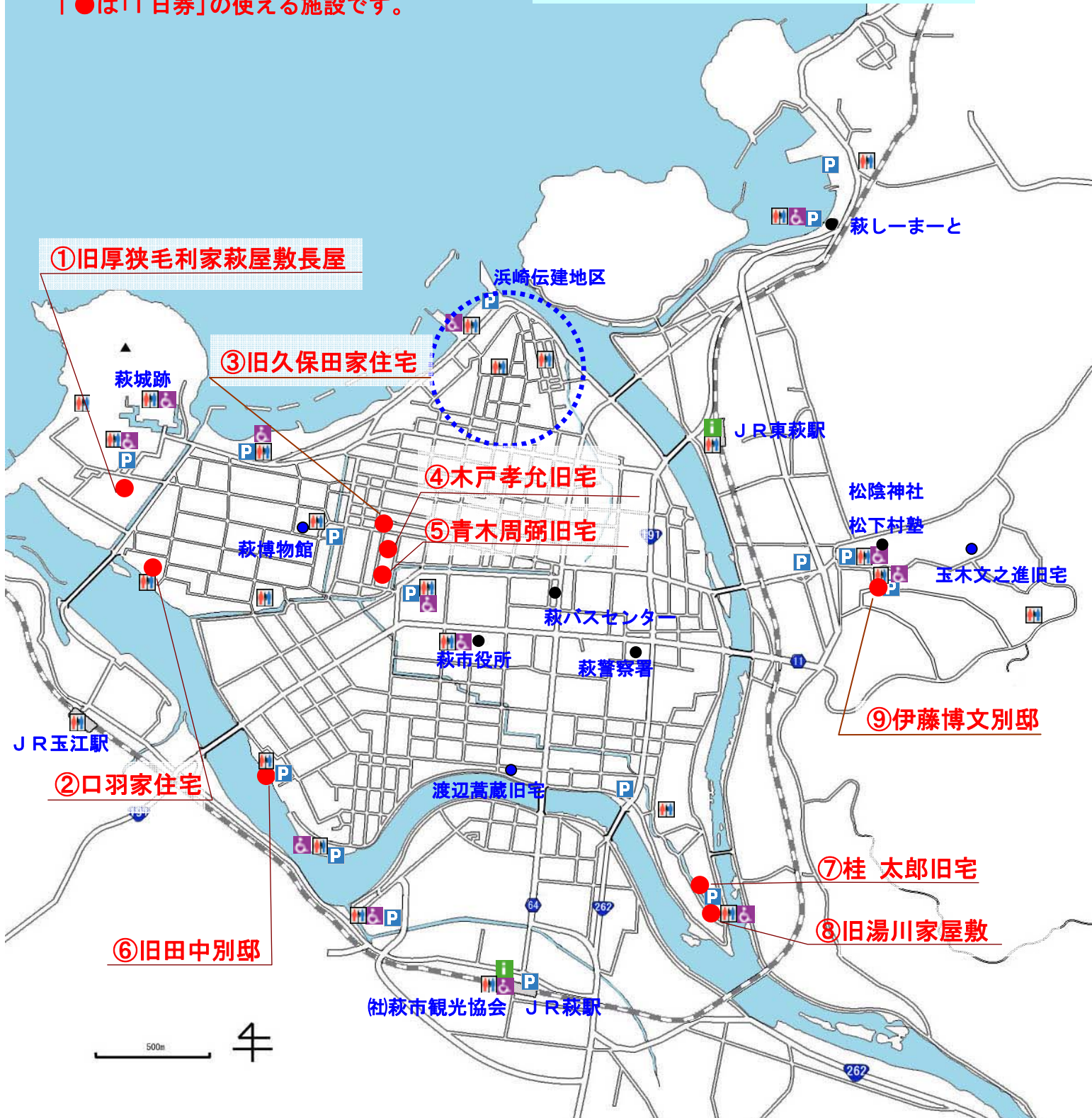
↑●は「1日券」の使える施設です。

市内の観光には乗りやすく便利な「萩循環 まあーるバス」をご利用下さい。

1日乗車券（500円で1日乗り放題）も販売しています。

タクシー観光の申込は

萩観光タクシー	TEL	(0838) 22-7797
萩近鉄タクシー	TEL	(0838) 22-0924
萩第一交通	TEL	(0838) 25-5050
日の丸松野タクシー	TEL	(0838) 22-0163



萩市文化財施設見どころ案内



◀ 萩で一番大きい武家屋敷 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 MAP ①

旧厚狭毛利家萩屋敷長屋は、国指定重要文化財に指定されており、現在萩に残っている武家屋敷の中では最も大きい建物(桁行 51.4m)です。長屋には、萩城の模型などが展示してあります。(萩市堀内 85-2)



◀ 国指定重要文化財 口羽家住宅 MAP ②

口羽家は萩藩寄組士で、萩城下に残る上級武士の屋敷としては古く、貴重で、主屋と表門が国の重要文化財に指定されています。住宅内では、口羽家伝来の馬印などがご覧いただけます。また、庭から眺める河畔の景色は絶景です。(萩市堀内 146-1)



◀ 御成道に位置する 旧久保田家住宅 MAP ③

旧久保田家住宅は、旧御成道(参勤交代の際、大名行列が往来したメインストリート)沿いに位置し、幕末から明治時代前期にかけて建築された町家です。真向かいには、国指定重要文化財の菊屋家があり、「国指定史跡萩城下町」を構成する極めて重要な建物です。(萩市呉服町一丁目 31-5)



◀ 維新の三傑 木戸孝允旧宅 MAP ④

木戸孝允(桂小五郎)は、天保4年(1833)この家に生まれ、江戸に出るまでの約20年間をこの家で過ごしました。旧宅では、幼・少年時代の手習い(習字)や少年時代に旧宅に「死而後已(ししてのちやむ)」と落書きしたもの、また多数の写真などをご覧いただけます。(萩市呉服町二丁目 37)



◀ 日本屈指の蘭学者 青木周彌旧宅 MAP ⑤

幕末当時、青木周彌は日本屈指の蘭学者でした。また、後に青木家を継ぐ実弟・研蔵も長崎で最新の医学を学び、種痘の技術を初めて藩にもちかえり、天然痘を予防することに成功しました。研蔵は明治2年(1869)に、明治天皇の大典医に任命されました。(萩市南古萩町 3)



◀ 第26代内閣総理大臣 旧田中別邸 MAP ⑥

別邸内には、田中義一が陸軍大将時代に身につけた正装(大将服)や旧総理官邸の屋上にあったミニズクのレプリカなど展示物が多数あり、五松閣と呼ばれる建物から観る河畔の景色は絶景です。また、隣接するかんきつ公園は、夏みかんなど柑橘類 380本が植えてあります。(萩市平安古町 164)



◀ 萩の生んだ三人目の総理 桂太郎旧宅 MAP ⑦

桂太郎は、日英同盟締結時の総理大臣で、拓殖大学の創立にもかかわりました。旧宅内には、拓殖大学から寄贈された肖像画や銅像、水滴により琴のような音を発生する水琴窟(すいきんくつ)があります。(萩市川島 73-2)



◀ 水を利用した先人の知恵 旧湯川家屋敷 MAP ⑧

旧湯川家屋敷は、前を流れる藍場川の水を屋敷内に引き込み、日本庭園の池や台所、風呂場で利用できるようになっています。特にハトバ(川沿いに階段を作って、水に近づけるようにしたところ)や屋敷から見る日本庭園は必見です。(萩市川島 67)



◀ 初代内閣総理大臣 伊藤博文別邸 MAP ⑨

別邸は、日本初の総理大臣・伊藤博文が明治40年(1907)に東京都品川区大井に建てたものをこの地に移築し、平成13年(2001)から公開しています。別邸内には、天皇から下賜された灯籠や杉の一枚板で作られた鏡天井などがあります。(萩市椿東 1511-1)



◀ 玉木文之進旧宅 (無料)

吉田松陰の叔父 玉木文之進がここに松下村塾を開きました。(萩市椿東 1584-1)



◀ 渡辺蒿蔵旧宅 (無料)

長崎造船局 初代局長 渡辺蒿蔵の旧宅を2012年から公開しました。(萩市江向 5)